【別添２】（様式例１）

平成３０年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

Ⅰ　自己評価

岐阜県立大垣東高等学校

学校番号	２３

１　学　校　教　育　目　標	社会のリーダーをめざすにふさわしい人間を育てる。 （１）学問を尊ぶ気風を培い、高い学力を身に付けさせる。 （２）文化を尊重し、部活動や学校行事等への主体的な取組を通して、豊かな人間性を身に付けさせる。 （３）生活規律を確立させる。
２　現状の分析	○落ち着いた態度で授業を受けることができ、成果を上げている。 ▲課題をまとめたり分析できるが、自らが積極的にテーマを見つけ、発表したり説明できる生徒が少ない。
３　学校の抱える課題	・学習活動や行事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢が乏しい生徒が増えてきた。 ・授業の質の向上を図るために、全職員が積極的に授業公開・授業評価を実施し、更に授業改善を実施していく必要がある。
４　今年度の具体的な重点目標	◇生徒一人一人が、進路希望を実現できるよう、学習指導・進路指導の充実を一層図る。

年度目標			年度末（途中）評価			
５　評価項目 領域・分野	６　重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	７　達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	８　取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	９評価 A･B･C･D	１０　成果と課題	１１ 総合 評価
学習指導	①　質の高い授業の実施と理解度の向上	①　公開授業の授業評価、アンケートの項目別集計値	教職員の指導についてのアンケートの多くの項目で昨年度よりやや高い評価を得ている。	B	全教員が授業に対する意見交換や、教材の共有などを図り、生徒個々に対して効果的な指導ができるよう改善を続けていきたい。	A (B) C D
	②　チャレンジ講座等補習授業の充実	②　アンケートの項目別集計値	アンケートの「校外模試や、チャレンジ講座、休日の自習室開放などに努めている。」で３位から→H29：２位）	B		
進路指導	①　ホームルーム活動と総合的な学習を連携させた指導	①　アンケートの項目別集計値	進路希望に応じた説明会などを、効果的に実施したので、生徒アンケートの進路情報などに付いての数値が昨年度より高い評価を得ている。	B	全ての生徒に対して、一人一人の進路実現や個性を生かした指導を行っている。 今後も、多くの機会を用い、効果的で最適な進路指導を展開しようと考えている。そのためには、保護者との連携が不可欠となるため、資料の作成や提供等検討していきたい。	
	②　卒業生の手記や進路シラバスを含んだ進路の手引きの作成	②　学年別の目標の確認と意義の位置付け	進路の手引きに卒業生アンケートを掲載し、進路実現に向けた具体的な内容を理解できるように工夫した。	A		
	③　望ましい進路実現のための懇談等の積極的な実施	③　アンケートの項目別集計値	保護者会での保護者アンケートの結果を受け今後、保護者懇談会等での進路資料の出し方をさらに工夫したい。	B		
理数科教育	①　課題研究への積極的な取組	①　報告会の公開	オリエンテーションの時期を早め、研究の時間を確保した。大学等からの指導を受けながら研究を進めた。	A	課題研究を通して、論理的に考え、伝える能力が付いた。	
	②　適切な進路選択の指導	②　興味関心に基づき、進路実現ができる。	高大連携講座・課題研究の経験を元に、進路選択を考えるよう指導した。	B	将来の職業選択を身近な例から考えることができた。	

Ⅱ　学校関係者評価

実施年月日：平成３１年２月　　日

座学が多い高等学校の授業のなかで、参観した「現代社会」の授業は、自分で調べて発表する姿勢がとてもよく、自主性を伸ばすという視点や、２人で協力して発表する活動は大切である。しかし、一部の生徒は声が小さかったりしているので高校生らしい元気さをもっと出して欲しかった。また、このような探求型の授業形態を学校全体で共有する必要もあると思われる。

12　来年度に向けての改善方策案

学習指導や進路指導、自習室との整備などは、生徒や保護者から高評価を得ているが、生徒アンケートの「一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている」が低評価であったことからも、今後の入試制度の改革など生徒を取り巻く環境に変化していくようさらに研鑽をする必要があると考える。また、来年度より導入される電子黒板についても早急に授業方法や内容の精査を進めていく必要がある。